

事業群評価調書(令和4年度実施)

基本戦略名	3-2 地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る	事業群主管所属・課(室)長名	土木部 都市政策課	田坂 朋裕
施策名	3 持続可能で魅力ある都市・地域づくり	事業群関係課(室)		
事業群名	② 長崎市中央部のランドデザイン	令和3年度事業費(千円)	※下記「2. 令和3年度取組実績」の事業費(R3実績)の合計額 27,327	

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)		(取組項目)								
長崎市中央部では、都市・居住環境整備基本計画を策定し、新幹線開業に向けたまちづくりを進めてきましたが、さらにその先を見据えて、まちづくりの方向性を示すランドデザインや重点4エリアにおける整備計画を見直し、計画的な都市基盤整備を進めるとともに、長崎スタジアムシティプロジェクト等のまちづくりに貢献する民間都市開発への支援を検討します。		i) 新幹線開業に向けて、長崎駅周辺区域の機能的で魅力ある都市環境創出を目的とした、専門家と事業実施機関によるデザイン検討・調整 ii) 長崎港周辺におけるアーバンデザインシステムを活用した、先導性が高く、景観的に優れた施設整備の推進 iii) 長崎市中心部の交通結節機能の強化								
事業群	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)	
	長崎都心地域における民間都市再生事業計画の認定数(累計)	目標値①	2件	2件	2件	2件	4件	4件(R7)		令和2年に指定を受けた都市再生緊急整備地域「長崎中央地域」において、一定の要件を満たす民間都市開発事業に対し減税措置等を行うことで開発を支援する。 令和3年に「長崎スタジアムシティプロジェクト」と「(仮称)新長崎駅ビル開発プロジェクト」が民間都市再生事業計画に認定された。 引き続き、開発計画のある民間事業者と協議・調整等を行い、優良な都市開発の促進を図っていく。
		実績値②	2件					進捗状況		
	達成率②/①	100%					順調			

2. 令和3年度取組実績(令和4年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和3年度事業の成果等	
				R2実績	うち一般財源	人件費(参考)		主な指標	R2目標	R2実績		達成率
				R3実績			令和3年度事業の実施状況(令和4年度新規・補正事業は事業内容)			R3目標	R3実績	
				R4計画	事業実施の根拠法令等		事業対象					R4目標
				事業期間	法令による事業実施の義務付け	県の裁量の余地がない事業	他の評価対象事業(公共、研究等)					
				所管課(室)名								
取組項目 i	○	1	都市再生推進事業	2,298	2,298	7,433	都市再生緊急整備地域「長崎中央地域」が令和2年9月に国の指定を受けた。 長崎駅周辺地区においては、長崎駅周辺エリアデザイン調整会議を通じ、エリア内で整備される公共施設1件のデザイン調整を行った。	【活動指標】	2	3	150%	●事業の成果 ・会議は事業の進捗状況を考慮し、上半期の1回に集約して開催した。 ●事業群の目標達成への寄与 ・長崎都心地域である長崎駅周辺地区において、デザイン調整を行い、周辺環境と調和の取れた都市空間を創出することができた。
				2,918	2,918	8,959			2	1	50%	
				3,173	3,173	8,833			2			
			H21-	—		【成果指標】			13	16	123%	
		都市政策課	—	—	—	県、長崎市、民間事業者		17	17	100%		
								19				
取組項目 ii	○	2	環長崎港地域都市再生調整事業	9,520	9,520	5,086	アーバンデザイン専門家会議において、県庁舎跡地等のデザイン調整を行った。	【活動指標】	11	1	9%	●事業の成果 ・事業毎のデザイン調整の時期に合わせスケジュール管理を行い、必要に応じてオンライン開催をすることで、目標値を上回ることができた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・長崎都心地域を含む、長崎港周辺地域において、デザイン調整を行い、魅力的な都市景観を形成することができた。
				7,732	7,732	3,506			11	12	109%	
				14,462	14,462	4,225			11			
			H10-	—		【成果指標】			1	0	0%	
		都市政策課	—	—	—	県、長崎市、民間事業者		1	1	100%		
								1				

取組項目 iii	○	3	都市再開発支援事業	5,600	3,487	8,959	長崎駅前バスターミナル等の再整備に向け、周囲の土地・建物所有者など地域の皆様の意見を聞きながら、再整備の計画立案、事業手法等の検討を行った。	【活動指標】 地権者等に対する地元説明会等の開催回数(回)	4	4	100%	●事業の成果 ・長崎駅前バスターミナルの再整備に向けた検討を行うため、地権者への個別説明や研究会の開催など、意見交換を行うことができた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・長崎の玄関口に相応しいまちづくりを目指し、新たな都市開発の検討への支援を行うことができた。	
				57,200	29,313	5,377			2				
			R3-4	—									
				都市政策課	—	—	—	対象地の権利者、地域住民	【成果指標】 事業計画案の策定	1	—	—	
	4			先導的官民連携支援事業	11,077	0	5,377	PPP/PFI事業の導入可能性調査を通して、地域住民や有識者の意見を聞きながら、松が枝地区の整備構想の策定に取り組んだ。	【活動指標】 地元意見交換会等の開催数(回)	3	2	66%	●事業の成果 ・導入可能性調査を通して、他都市の事例調査や地元住民・地権者・有識者と意見交換等を行い、整備構想の策定に取り組んだものの、関係者との合意形成に時間を要したため、公表についてはR4年度以降を予定している。
(R3終了)R3				—									
			都市政策課	—	—	—	県、長崎市、民間事業者、地域住民	【成果指標】 整備構想の策定	1	0	0%		

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i	新幹線開業に向けて、長崎駅周辺区域の機能的で魅力ある都市環境創出を目的とした、専門家と事業実施機関によるデザイン検討・調整	●実績の検証及び解決すべき課題 長崎駅周辺エリアデザイン調整会議を通じて、長崎市交流拠点施設(MICE)やホテル、長崎放送(NBC)新社屋などについて周辺環境と調和したデザイン調整を実施してきた。令和3年度はJR九州新長崎駅ビルのデザイン調整を行ったが、駅周辺環境に大きな影響を及ぼす大規模施設であることから、令和4年度も継続的なデザイン調整が必要である。	●課題解決に向けた方向性 長崎駅周辺では、JR九州新長崎駅ビルの開発など、今後も民間開発が予定されていることから、引き続き、円滑なデザイン調整を進める。
ii	長崎港周辺におけるアーバンデザインシステムを活用した、先導性が高く、景観的に優れた施設整備の推進	●実績の検証及び解決すべき課題 これまで20年以上に亘り、先導性が高く、景観的に優れた施設整備のためのデザイン調整を行ったことにより、グッドデザイン賞を6度受賞するなど、全国的な評価を得てきた。その一方で専門家の高齢化が進み、世代交代の時期を迎えている。	●課題解決に向けた方向性 アーバンデザインシステムで築いてきた思想について、専門家の意見を踏まえながら、同システムの意義や立ち上げの経緯、これまでの成果・実績を取りまとめ、次世代の専門家等へ引き継いでいく。
iii	長崎市中心部の交通結節機能の強化	●実績の検証及び解決すべき課題 長崎駅周辺や松が枝周辺における交通結節機能の強化に向け、関係者等への説明や意見交換を行っているものの、地元調整に時間を要しており、事業計画案等の策定には至っていない。	●課題解決に向けた方向性 引き続き、関係者等への説明や意見交換を実施し、地元調整等を進め、事業計画案等の策定を目指す。

4. 令和4年度見直し内容及び令和5年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	令和4年度事業の実施にあたり見直した内容 ※令和4年度の新たな取組は「R4新規」等と、見直しが無い場合は「—」と記載	令和5年度事業の実施に向けた方向性		
			事業期間 所管課(室)名		事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
取組項目 i	○	1	都市再生推進事業 H21- 都市政策課	—	⑤	令和4年秋の九州新幹線西九州ルート開業後も長崎駅周辺土地区画整理事業区域等でさらなる民間開発が進むと想定されることから、引き続き、長崎駅周辺エリアデザイン調整会議において周辺環境と調和したデザイン調整を円滑に進めていく。	現状維持

取組項目 ii	○	2	環長崎港地域都市再生調整事業	—	③	アーバンデザイン専門家会議における若手委員の育成を進めながら、松が枝国際観光船埠頭の2バース化や県庁舎跡地など長崎港周辺で整備される施設についてデザイン検討を行い、魅力的な都市景観の形成を進めていく。	現状維持
			H10-				
			都市政策課				
取組項目 iii	○	3	都市再開発支援事業	—	⑩	—	終了
			R3-4				
			都市政策課				

注:「2. 令和3年度取組実績」に記載している事業のうち、令和3年度終了事業、100%在庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点